

# クリーンファルト



NICHIREKIの

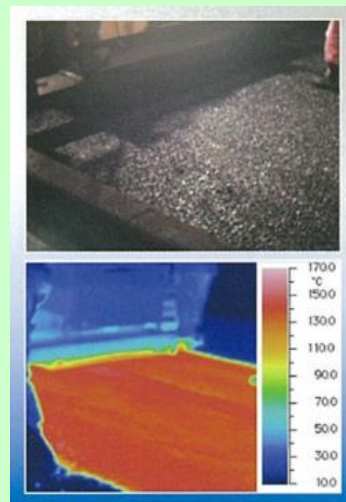
## 技術情報

technology information

中温化バインダを用いたアスファルト混合物(中温化合物)は、製造及び締固め温度を約30℃低減することができるため、厳寒期の舗装の施工性改善や品質確保に大きく貢献します。



工事名：白鳥線舗装改修(第1工区)工事  
発注者：奥州市 前沢総合支所 地域整備課  
クリーンファルトⅡ型(中温化舗装用改質アスファルト)使用

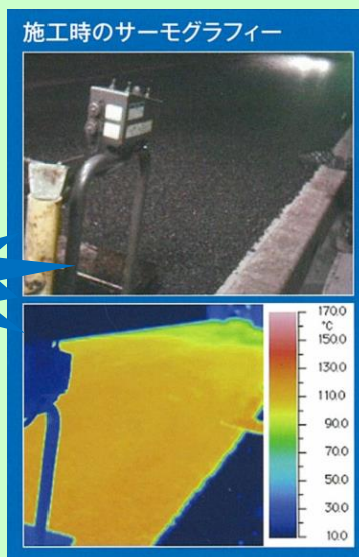


通常時(ストレートアスファルト施工時)

寒冷期では舗装の施工の際、合材が冷えて固まってしまう通常よりも施工の手間がかかったり、冷えて使用できなくなり、廃棄合材となる合材ロス率が上がったりしてしまいます。ニチレキのクリーンファルトを用いた中温化合物では製造・締固め温度を約30℃低減できるため、固まってしまった合材を無理に施工する事もなく、品質確保に大きく貢献します。



-30℃



中温化合物施工時(クリーンファルトSA)

気温が氷点下の場合、現場に到着するまでに合材が冷え、ダンプの隅に固まってしまった合材塊が残ることがありますがクリーンファルトを用いた中温化合物では全くみられません。

**NICHIREKI**  
お問い合わせ、資料のご請求先

ニチレキ株式会社 022-388-8101  
大崎営業所 0229-56-3211  
ニチレキHP: <http://www.nichireki.co.jp/>  
東北ニチレキHP: <http://tohoku-nichireki.co.jp/>  
岩手ニチレキHP: <http://www.iwatenichireki.com/>

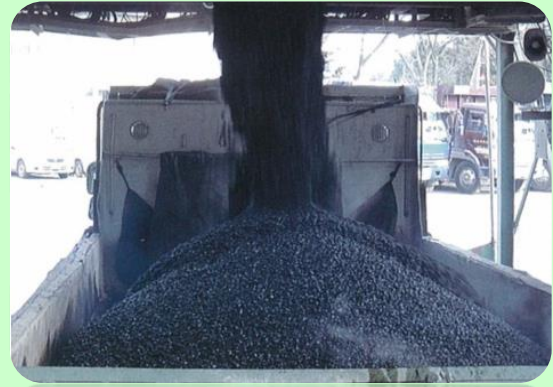
道路総合システムサービスを目指す”技術のニチレキ”

東北ニチレキ工事株式会社 022-285-1511  
山形支店 023-686-2025  
大崎営業所 0229-56-3211  
青森営業所 0176-22-1931  
福島営業所 024-944-8158

ニチレキのクリーンファルトはプレミックスタイプであることから、中温化剤をアスファルトプラントで添加するプラントミックスタイプに比べ、均一で安定した性能を確保しやすくなります。



通常の改質アスファルト  
180°Cでのアスファルト混合物出荷状況



クリーンファルト  
30°C低減により、煙が激減

## クリーンファルトの特長

- ・混合物製造時・および締固め時の温度を約30°C低減できます。
- ・通常のアスファルト舗装の機械編成で施工できます。
- ・通常のアスファルトの品質規格を満足します。
- ・プレミックスタイプのため、合材製造時の手間を省略・均一で安定した性能を確保できます。
- ・寒冷期の施工性が改善されるため、品質確保に大きく貢献します。
- ・次工程までの養生時間を短縮できます。

舗装現場での中温化合材の使用は一般的なものになりつつあります。特に改質合材では冬場固まりやすく、合材ロス率の上昇や施工後の剥がれが懸念されます。**廃棄合材の処分費用の低減化、施工性改善や品質確保**など、創意工夫として技術提案をしてみたいかがでしょうか。

## 中温化バインダメニュー

種類	混合物の性能
クリーンファルトSA	ストアス相当(再生骨材混入率0~10%)
クリーンファルトSAR	ストアス相当(再生骨材混入率10~30%)
クリーンファルトⅡ型	ポリマー改質アスファルトⅡ型
クリーンファルトHDS	ポリマー改質アスファルトⅢ型
クリーンファルトH型	ポリマー改質アスファルトH型
クリーンファルトAF	改質Ⅱ型相当(再生骨材混入率0~10%)
クリーンファルトAFH	改質Ⅱ型相当(再生骨材混入率30~50%)



## 中温化バインダの締固め特性(突き固め温度と締固め度の関係)

